

① 2020年度最重点実施事項として展開しています

指差呼称 これを防ぐぞ ヒューマンエラー

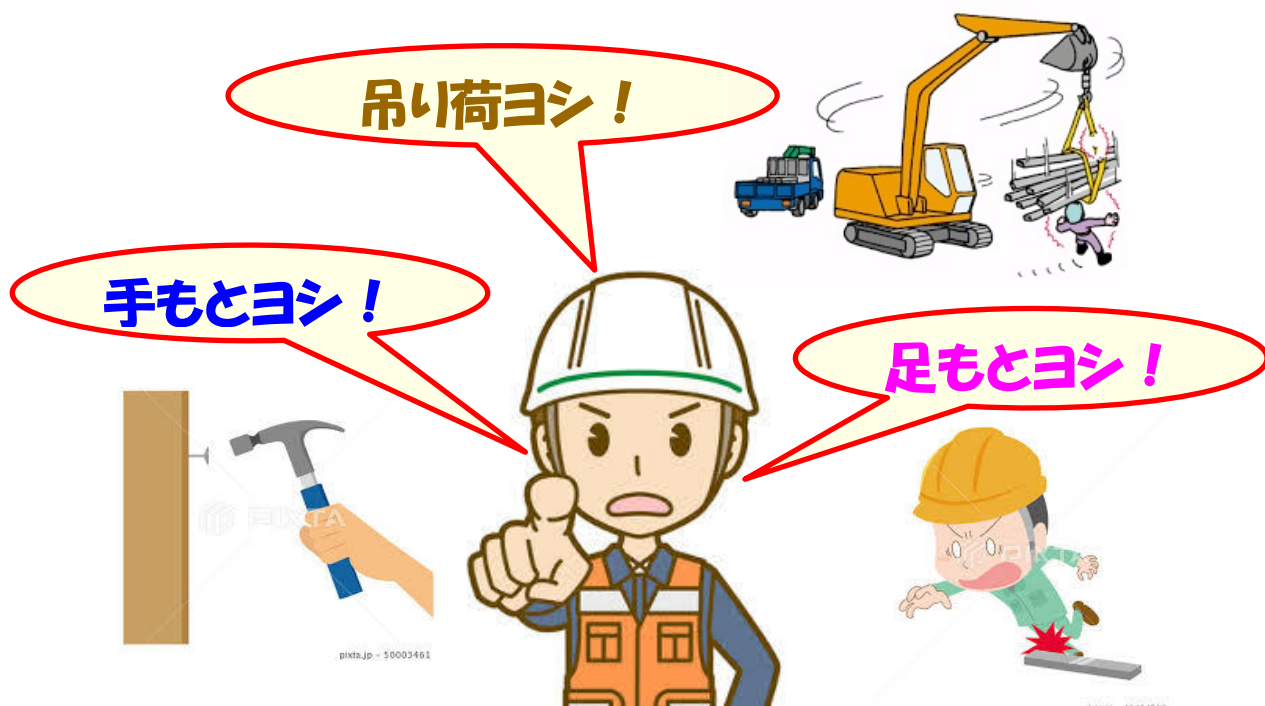
「手もとヨシ！」

「足もとヨシ！」

「吊り荷ヨシ！」

日常の作業行動のなかで、指差呼称による安全確認を行うことが、ヒューマンエラーを防止するのに最も有効な方法です。昨年度、当社で発生した災害の8割は、

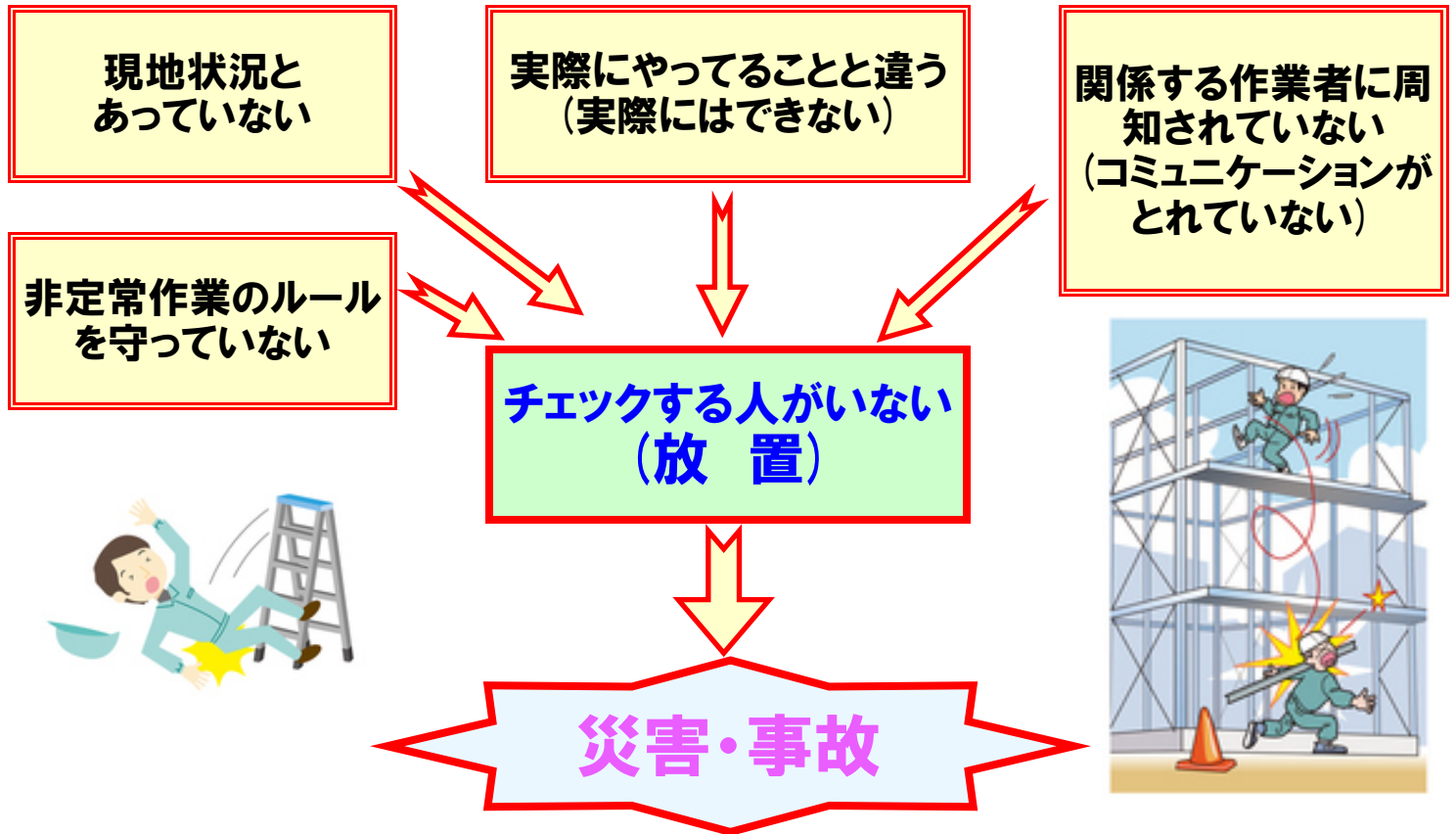
「手もとの確認」・「足もとの確認」・「吊り荷の確認」
この3つの確認を怠らなければ防げた災害です。



実行しましょう！

- ① 実際に作業を行う一人ひとりが、作業単位毎のKY活動・現地一人KYで、いつ、何を、指差呼称で確認するのか具体的に自分自身で決定する。⇒ 『きょう、私は～～するときに、～～を指差呼称で確認するぞ！』
- ② 管理監督者(店社・作業所)が率先垂範で雰囲気づくり、管理監督者の姿勢・行動・熱意が作業員の意識に反映される。

② 作業手順・作業計画



《作業開始前》

作業手順・作業計画を策定し、周知する

使用機械・器具、有資格者、役割分担、保護具類、作業方法等は適切か？ 関係法令を遵守しているか？
関係する作業者全員が理解しているか？

《作業開始後》

現場状況・作業状況を把握し、見直し・改善をする。

手順書・計画書どおりに作業してる？ なぜ、やらない？
やりにくい？ 手間がかかりすぎないか？ 危ない？

作業開始前に・・・

ヒト・モノ・キカイを段取りするように、作業手順・作業計画を策定し周知しましょう！

作業開始後に・・・

品質・工程・原価をチェックするように、作業手順・作業計画をチェックし、必要な見直し・改善をしましょう！

③ 3ない管理 「黙認しない」・「妥協しない」・「放置しない」

「3ない管理」に徹した現場巡視をしましょう！

◎ 不安全行動を『黙認しない』

・ちょっとした不安全行動・ルール違反でも、

「黙認しない」でその場で是正

~~足場板を固定していないけど…、もうすぐ
終わりそうだから、「まあ、いいか」~~

⇒管理監督者が不安全行動・ルール違反を

黙認すれば認めたことになる

◎ 言い訳に『妥協しない』

・やりづらい、といった作業員の言い訳に

「妥協しない」で安全作業に改善

~~安全カバーを外しているけど…、
やりづらいと言ってるし、「まあ、いいか」~~

⇒言い訳に妥協するのは、指導力のない証拠

◎ 不安全状態を『放置しない』

・不安全な状態に気づいたら、「放置しない」ですぐ改善

・すぐできない場合は、今できるとりあえずの安全対策を実施

~~手すりが外れたままだけど…、
今、誰もいないし、「まあ、いいか」~~

⇒不安全状態、気づいたときに改善するとき

「まあ、いいか」は「全然よくない！」
「3ない管理」で安全最優先

④ 日々の安全活動による危険感受性の向上

危険感受性の低下

- ・災害に直面する体験が稀 (労働災害の減少)
- ・生活環境の変化 (安全・安心な日常生活)

「危ないなあ」「なんとなく変だなあ」「どうも気になる」

現場では、作業者がとっさに危険を感じ、作業者自身がその危険を回避する行動をとらなければならない場面が多い

労働災害防止に、危険感受性の向上が必要！

◎ 日々の安全活動の活性化で危険感受性を向上させよう

《1. KY活動の活性化》

- ・KY活動でその日の作業の危険の洗い出し
- ・他の作業員が予知した危険を自分のものに
- ・危険感受性の高くない作業員に発言の機会を



《2. 指差呼称》

- ・危険箇所、危険作業を教え、指差呼称で確認させる
- ・指差呼称で確認することにより、危険を認識

《3. 声かけ》

- ・「ちょっと待て!」「離れろ!」「触るな!」等、
声かけにより危険を気づかせる

《4. 危険の見える化》

- ・危険箇所の明示⇒昇降口に、「足もとヨシ!」
- ・かもしれカードで注意喚起⇒回転部に、「巻き込まれるかも!」
- ・現場ルールの明示⇒「歯止は良いか?」

《5. 安全教育・訓練》

- ・KYシートを使って、KYT (危険予知訓練)
- ・「かもしれカード」の活用
⇒「落ちるかも」「挟まれるかも」「転ぶかも」「倒れるかも」等
- ・映像教材の活用
- ・危険体感教育

